

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I 法人の概況

1 設立年月日 昭和61年1月17日

2 定款に定める目的

当公益財団法人は、静岡県における学校教育の振興並びに教育研究の高揚及び充実に図り、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 静岡県内の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校及び教育研究諸団体（以下「学校等」という。）で教育に関して優れた研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等に対する顕彰及び奨励並びに助成（幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む）
- (2) 静岡県内の学校等で教育に関して優れた研究を行い又は顕著な実績を挙げている教職員の顕彰及び奨励並びに助成
- (3) 教育に関する講演会・研修会・出版等の事業
- (4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

4 所轄官庁

静岡県教育委員会 教育総務課

5 会員の状況

該当する会員はなし。

6 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所 静岡県静岡市清水区辻一丁目1番1号

支部の状況 該当する支部はなし。

7 役員等に関する事項（令和6年3月31日現在）

(1) 理事

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
理事長	後藤 康雄	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
副理事長	宮崎 總一郎	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
常務理事	木内 藤男	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
理事	池上 重弘	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡県教育長
理事	赤堀 文宣	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡市教育長
理事	宮崎 正	令和6年6月	非常勤	辞退	浜松市教育長
理事	仲田 晃弘	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
理事	木苗 直秀	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	前静岡県教育長
理事	池谷 眞樹	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	前静岡市教育長
理事	花井 和徳	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	前浜松市教育長
理事	長谷川 了	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
理事	中西 勝則	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
理事	酒井 公夫	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照
理事	後藤 加壽子	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	料理研究家
理事	後藤 佐恵子	令和6年6月	非常勤	20,631円/回	附属明細書参照

(2) 監事

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
監事	高木 雅宏	令和6年6月	非常勤	20,631 円/回	附属明細書参照
監事	大須賀 紳晃	令和6年6月	非常勤	20,631 円/回	附属明細書参照

(3) 評議員

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
評議員	戸塚 康史	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡県教委課長
評議員	中山 雄二	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡県教委課長
評議員	渡邊 宏	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡県私学振興課長
評議員	奥村 篤	令和6年6月	非常勤	辞退	沼津市教育長
評議員	千葉 一道	令和6年6月	非常勤	20,631 円/回	附属明細書参照
評議員	榎本 義男	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡市教委所長
評議員	内山 圭子	令和6年6月	非常勤	辞退	浜松市教委課長
評議員	曾根 明美	令和6年6月	非常勤	20,631 円/回	附属明細書参照
評議員	香田 賢治	令和6年6月	非常勤	辞退	附属明細書参照

(4) 退任した役員等

氏 名	退任時の地位	退 任 日	退任理由
奥山 貴弘	評議員	令和5年6月16日	令和5年4月1日転任の為辞任
北川 和彦	評議員	令和5年6月16日	令和5年4月1日転任の為辞任
石野 政史	評議員	令和5年6月16日	令和5年4月1日転任の為辞任

(5) 役員等の報酬

区 分	人 数	報 酬 等 の 総 額	備 考
理 事	15 名	年間 300 万円を超えない	内、公務員 3 名は報酬辞退
監 事	2 名	上記に含む	
評議員	9 名	年間 50 万円を超えない	内、公務員他 7 名は報酬辞退

8 顧問及び選考委員等

(1) 定款第 37 条に基づき顧問を置く。

- ・ 5 名、任期は特に定めない、非常勤。
- ・ 報酬：1 回の出席に付き、20,631 円、総額年間 50 万円を超えない。交通費等実費支払。

(2) 定款第 54 条に基づき委員会（選考委員会、選考準備委員会）を置く。

- ・ 各委員会ごとに 7 名～10 名程度の委員を置く。非常勤。任期は 2 年、再任を妨げない。
- ・ 報酬：1 回の出席に付き、20,631 円、総額年間 90 万円を超えない。交通費等実費支払。

9 職員に関する事項（令和 6 年 3 月 31 日現在）

職 名 等	氏 名	就任月日	担当事務	備 考
事務局長	立花 毅	H 31. 3. 1	運営全般	各会議・委員会日程等調整
副事務局長	植屋 雅之	R 3. 3. 20	経理他	予算関係、各事業支払、財務
事務局	鈴木 恵子	R 5. 6. 1	事務方全般	各事業等の検証、会議資料作成
広報担当 アドバイザー	後藤 すみれ	R 2. 4. 1	広報誌全般	広報全般アドバイザー
アドバイザー	長井 利樹	R 5. 4. 1	全般	教育関連アドバイザー(非常勤)
アドバイザー	望月 誠司	R 5. 4. 1	運営管理	理事長補佐(パート)
事務	佐藤 恵	H 26. 4. 1	一般事務	パート(常勤)
選考協力委員	6 名	H 30. 4. 1～ R 3. 4. 1	資料作成等	顕彰事業手伝い(非常勤)
事業協力委員	鈴木 綾子	R 5. 9. 1	事業運営	県内小中学校交流等(非常勤)

10 許認可に関する事項

- ・平成 24 年 3 月 19 日付公益財団法人認定
法人コード：A005042、代表者：後藤 康雄
認定後名称：公益財団法人はごろも教育研究奨励会
所在場所：静岡市清水区辻一丁目 1 番 1 号。
- ・平成 27 年 3 月 26 日付事業変更認定
「食育支援事業」「施設等拡充支援事業」の業務拡大に対応するため「教育関連事業に対する支援事業」を追加。
- ・令和 2 年 12 月 25 日付事業変更認定
公益目的事業 1 に「教職員等への安全・安心に係る教育活動に対する支援事業」を追加。

II 財団事業

1 事業の実施状況

(1) 教育研究助成事業

県内において有効適切な研究テーマを設定して、意欲的に教育研究に取り組もうとする学校等及び教育研究諸団体に対して、授与要項に基づいて助成金を授与し教育研究に対する助成を行った。

- ・令和 5 年 2 月 15 日 「令和 5 年度(23 回)はごろも教育研究助成賞」の授与要項を県内の学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,621 件)。
- ・令和 5 年 5 月 8 日 応募締切 応募総数は 77 件。
内訳 単年度は 57 件、複数年度は 20 件。
- ・令和 5 年 5 月 15 日～5 月 22 日 選考準備委員による受賞候補の予備選考を実施した。
- ・令和 5 年 5 月 31 日 選考委員・選考準備委員合同委員会で受賞候補の選考を実施した。
選考結果を理事長に報告し、助成賞 51 件が承認された。
内訳 単年度は 36 件、複数年度は 15 件。
- ・令和 5 年 7 月 13 日 「令和 5 年度(第 23 回)はごろも教育研究助成賞」の授与式及び記念講演会を挙行了した。

(2) 教育研究奨励事業

県内において優れた教育研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等並びに教職員に対して、授与要項に基づき顕彰及び奨励を行った。

- ・令和 5 年 6 月 7 日 「令和 5 年度(第 38 回)はごろも教育研究奨励賞」の授与要項を県内の学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,607 件)。
- ・令和 5 年 10 月 6 日 小中学校関係選考準備委員、選考協力委員事前打合せ実施。
- ・令和 5 年 10 月 31 日 応募締切 応募総数は 166 件。
内訳 学校賞は 23 件、グループ賞は 14 件、個人賞は 129 件。
- ・令和 5 年 11 月 14 日～令和 5 年 12 月 27 日 小中学校は、選考協力委員による事前予備選考審査報告(12/8)を実施後、選考準備委員による予備選考実施。
- ・令和 6 年 1 月 22 日 選考委員・選考準備委員合同委員会で受賞候補の選考を実施した。
選考結果を理事長に報告し、奨励賞 71 件を決定した。
内訳 学校賞は 11 件、グループ賞は 11 件、個人賞は 49 件。
- ・令和 6 年 2 月 16 日 「令和 5 年度(第 38 回)はごろも教育研究奨励賞」の授与式及び記念講演会を挙行了した。

(3) 『夢』講演会事業

学校等、教育研究諸団体や、児童生徒には、講話を通して学ぶ意欲や生きる力を育み、教職員には講演会や直接指導を通じ、資質や指導力の向上を図り、本県の学校教育の充実・振興と青少年の健全育成に寄与することを目的とした。

- ①令和 5 年度(第 19 回)はごろも『夢』講演会は、令和 4 年 11 月 30 日に応募を締切。応募数 75 件、開催回 101 回となった。選考の結果、75 件、開催回数 101 回を採用した。
 - ・令和 5 年 4 月 1 日より令和 6 年 3 月末までに 75 件 101 回が実施された。参加者数は年間延べ、21,692 人となった。
- ②令和 5 年 8 月 7 日 「令和 6 年度(第 20 回)はごろも『夢』講演会」の実施・応募要項を県下学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,607 件)。

- ・令和5年11月30日 応募締切 応募数は96件、開催回数は122回。
- ・令和5年12月8日 選考委員会を開催、選考の結果、96件122回を採用とした。
- ・令和5年12月14日 選考結果を理事長に報告し、原案通り承認された。
- ・開催実施期間は令和6年4月1日より令和7年2月末まで、視察予定は80回程度を見込む。

(4)「教職員の海外交流支援派遣」事業

教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、姉妹都市交流等を支援することにより、青少年の健全育成に寄与することを目的として行った。

本事業による支援は、県内を静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課が所管する区域に分けて個別に行う。

- ・支援対象は、派遣区域内の学校等及び教育委員会が行う海外交流事業。
- ・単年度の派遣者数は、24人以内、旅費と滞在費の補助は、1人につき50万円以内とする。

①令和5年度教職員の海外交流支援派遣事業

- ・令和5年度の教職員の海外交流支援派遣者は、今後も新型コロナウイルスの状況の予想が困難と考え、令和5年度の募集は中止を決定した。
- ・ただし、静岡市教育委員会より1名の派遣依頼があり、令和2年度12名・令和3年度8名の派遣延期者と併せて合計21名が令和5年度に派遣を実施した。

②令和6年度(第13回)教職員の海外交流支援派遣事業

- ・令和4・5年度に引続き令和6年度も募集を中止したが、静岡市教育委員会より5名の派遣依頼があり5名を選考した。令和2年度1名・令和3年度4名の派遣延期者と併せて10名が派遣予定。
- ・令和7年度については、募集再開の予定。

(5) 食育支援事業

本事業は、平成22年に県教育委員会が「学校における食育ガイドライン」で、学校における食育推進の重要性を発表したことを受け、当財団としても青少年の健全育成に寄与する大事な教育活動として捉え、学校の食育支援事業の推進の支援、助成を行う。

具体的には「直轄事業」として各教育委員会、教育研究諸団体に対し当財団が、主体的に講演活動等を行う。「支援事業」としては、講演会費の助成、設備費及び資料作成費等、学校給食における様々な要望に対して支援活動を行う。

①直轄事業（自主事業）

- ・計画、実施なし。

②支援事業

ア 静岡県教育委員会

- ・令和5年7月 食育啓発事業 書き込み式リーフレット作成費の助成。
- ・令和5年7月 茶器等6セット購入費の助成。
- ・令和5年12月 山梨県とのお茶の学習交流バス代等費用の助成。
- ・令和6年1月 和食の日に関するPR動画の作成費・学校での食育教材提供費の助成。
- ・令和6年1月 ふじっぴー給食のデジタル教材作成費の助成。
- ・令和6年3月 給茶機5台の設置費用の助成。

イ 浜松市教育委員会

- ・令和5年10月 保存食用冷凍庫6台購入費の助成。
- ・令和6年1月 食育啓発紙ファイル作成費の助成。

ウ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・令和6年1月 県私学協会 第13回私立中・高校生の料理レシピアイデアコンテスト費用の助成。

(6) 施設等拡充支援事業

本事業は、県下の教育機関等の施設等拡充支援要請を受け、公的教育機関の施設等拡充を図ることを目的とする。

①直轄事業（自主事業）

- ・計画、実施なし。

②支援事業

ア 静岡県教育委員会

- ・令和6年3月 学習の居場所づくり事業 情報端末機(iPad)等購入費等の助成。

イ 静岡市教育委員会

- ・令和5年11月 特別支援センター無線アクセスポイント工事費用及び端末機(Chromebook)購入費の助成。

ウ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・令和5年6月 県私学協会 私学会館会議室音響設備整備費用の助成。

(7) 教育関連事業に対する支援事業

本事業は、平成27年より新設された事業で、県教育委員会、市教育委員会、私学協会等に関連する事業であり、県下教育施設の児童生徒、教職員に直接還元される支援事業である。

①直轄事業（自主事業）

・静岡県教育委員会(寄附分)

令和5年9月 「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」親学講座事業 小・中学校版クリアファイル作成費用の助成。

令和5年9月 「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」静岡ビブリオバトル リーフレット作成費用の助成。

令和5年9月 「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」SDGsスクールアワード開催報償費等の助成。

令和5年9月 「未来の学校づくり推進事業」生徒企画の「ゆめ授業」の実現 講師報酬・会場使用料等の助成。

令和5年9月 「ふじのくに『個が輝く』人材育成事業」Dream授業・賀茂版の開催講義講師料等の助成。

令和5年9月 「人権教育総合推進関連事業」静岡県人権教育手引き作成費用の助成。

・静岡県、静岡市、浜松市各教育委員会、静岡県私学協会 図書寄贈事業

令和5年5月 学研まんが「日本と世界の伝記 徳川家康」を小中・特別支援学校へ寄贈

・財団設立30周年記念事業（県教育委員会）

令和5年8月 県教育委員会事業の「ふじのくにグローバル人材育成基金」へ、平成28年度4千万円を拠出。以降、毎年1千万円を令和4年度まで助成により、総額1億円の拠出を実施。県教育委員会よりの要請により令和7年度まで助成を延長。

・NP0 キッズアートプロジェクトしずおか（県教育委員会関連）

令和5年8月 ミュージアムパスポート作成費の助成。

・公益財団法人 徳川記念財団（県教育委員会義務教育課他）

令和6年1月 徳川家康公顕彰作文コンクール費用の助成。（令和3年度より優秀作品新聞掲載）

・ふじのくに地球環境史ミュージアム（県スポーツ・文化観光部関連）

令和6年3月 連続講座・オムニバス授業 計11回講座開催費用他の助成。

・NP0 法人徳川みらい学会（静岡市教育委員会後援）

令和6年3月 静岡市歴史博物館子どもプログラム「駿府寺子屋」計6回講座開催費用の助成。

②支援事業

ア 静岡県教育委員会

- ・令和5年5月 特別支援学校働き方改革推進事業 研修会講師費用の助成

- ・令和5年7月 教職大学院に学ぶ次代のリーダー養成支援事業 修学準備費、研修費の助成。（令和4年度より助成金増額）

- ・令和5年12月 発達障害等の生徒支援事業・高校特別支援教育研究事業支援 研修会講師費用の助成。

- ・令和5年12月 日中青年代表交流発展事業 参加者5名の費用半額の助成。

- ・令和6年1月 アントレプレナーシップ研修の開催 研修委託費用、旅費等の助成。

- ・令和6年3月 就業準備金補助事業 人材バンク登録者の教職員就業に係る費用の助成。
- ・令和6年3月 県立中央図書館子どもコーナー貸出資料購入費用の助成。
- ・令和6年3月 教職員情報共有化システムホームページ開設費用の助成。

イ 静岡市教育委員会

- ・令和5年7月 教職大学院に学ぶ次代のリーダー養成支援事業 修学準備費、研修費の助成。(令和4年度より助成金増額)
- ・令和6年2月 しずおか学副読本作成費の助成。
- ・令和6年2月 情報モラル教材『GIGA ワークブック』製作費用の助成。

ウ 浜松市教育委員会

- ・令和5年7月 教職大学院に学ぶ次代のリーダー養成支援事業 修学準備費、研修費の助成。(令和4年度より助成金増額)

エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・令和6年2月 県私学協会 学校図書館事業 読書感想文コンクール・POP コンクール・ビブリオバトル実施費用の助成。

(8) 教育研究啓発事業

教育研究の啓発に資するため、令和4年度(第37回)奨励賞及び令和4年度(第22回)助成賞の各受賞者の研究成果を「受賞者研究論文成果集」として編集し、令和5年6月に1,607件、また令和4年度(第18回)はごろも『夢』講演会実施報告書を編集し、令和5年8月に1,607件を県内学校等及び教育関係機関に発送。また、奨励賞、グループ賞、個人賞受賞者及び『夢』講演会各講師並びに財団関係者に送付。

(9) 学校訪問

今後の事業運営の参考に資するため学校訪問を行った。

①はごろも教育研究助成賞受賞校9校視察

- | | | |
|---------------|-----|------------|
| ・掛川市立第一小学校 | 訪問日 | 令和5年9月12日 |
| ・静岡の未来を拓く会 | 訪問日 | 令和5年9月14日 |
| ・沼津市立戸田小中一貫学校 | 訪問日 | 令和5年10月5日 |
| ・浜松市立井伊谷小学校 | 訪問日 | 令和5年10月10日 |
| ・湖西市立岡崎中学校 | 訪問日 | 令和5年10月12日 |
| ・下田高等学校南伊豆分校 | 訪問日 | 令和5年10月19日 |
| ・富士市立富士川第一幼稚園 | 訪問日 | 令和5年11月1日 |
| ・島田市立島田第四小学校 | 訪問日 | 令和5年11月13日 |
| ・静岡市立高等学校 | 訪問日 | 令和5年11月22日 |

②令和5年度(第19回)『夢』講演会視察実施、75件101回全て開催。選考協力委員による視察回数は74回実施。

『夢』講演会実施会場視察(令和5年4月～令和6年2月)は選考協力委員6名で実施。

2 重要な契約に関する事項

- (1) 令和5年8月1日 本年も引き続き双研日栄監査法人による当財団の業務及び会計について同社と監査契約を締結。
契約目的：令和5年度(第39期会計年度)会計監査。
- (2) 令和5年10月2日 双研日栄監査法人吸収合併によりふじみ監査法人へ名称変更。
令和5年10月10日登記済。

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

①令和5年度第1回通常理事会

開催日時 令和5年5月31日(水) 12:58～14:05

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 職務執行状況報告、令和5年度(第23回)教育研究助成賞受賞者報告、教職員の海外交流支援派遣事業報告、令和4年度基本財産等運用報告、はごろもフーズ(株)株主総会「株主の権利の行使」承認の各報告。

審議事項 静岡県教育委員会食育支援事業追加承認、令和4年度事業報告案・決算報告案、会計監査人の報酬額案、令和5年度定時評議員会開催及び提出議案の各承認。

②理事会決議の省略「みなし決議」

決議があったとみなされる日 令和5年6月23日(金)

議 案 はごろもフーズ(株)第94期定時株主総会において、原案に賛成の議決権の行使の承認。

③令和5年度第1回 臨時理事会

開催日時 令和5年11月7日(火) 9:30~10:40

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 令和5年度上期職務執行状況報告、令和5年度事業検討委員会報告(答申)

審議事項 令和5年度第1次収支補正予算案、令和6年度(第24回)助成賞授与要項案、令和6年度(第39回)奨励賞授与要項案、令和7年度(第21回)『夢』講演会実施・応募要項案、令和7年度(第14回)教職員の海外交流支援派遣実施要項案の各承認。

④令和5年度第2回通常理事会

開催日時 令和6年2月16日(金) 10:31~11:59

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 令和5年度(第38回)奨励賞受賞者報告、令和6年度(第20回)『夢』講演会企画採用者報告、令和6年度(第13回)教職員の海外交流支援派遣者選考報告。

審議事項 教職員の海外交流支援派遣費用特別支援案、令和5年度第2次収支補正予算案、令和6年度基本財産等運用計画案、令和6年度事業計画案、令和6年度収支予算案、令和6年度日程案の各承認。

(2) 評議員会

①令和5年度定時評議員会

開催日時 令和5年6月16日(金) 12:58~14:10

開催場所 ホテルアソシア静岡

報告事項 令和4年度事業報告、令和5年度事業計画報告、令和5年度(第23回)助成賞受賞者報告、教職員の海外交流支援派遣事業報告。

審議事項 令和4年度決算報告案、令和5年度会計監査人の選任案、評議員の選任案の各承認。

4 収支及び正味財産増減並びに財産の状況の推移

(単位：千円)

事業年度	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
前期繰越収支差額	18,752	17,913	18,088	45,084	37,006
当期収入合計	169,051	243,733	230,357	230,387	233,642
当期支出合計	169,890	243,558	203,360	238,465	218,126
当期収支差額	▲839	175	26,997	▲8,078	15,516
次期繰越収支差額	17,913	18,088	45,085	37,006	52,523
資産合計	3,712,825	3,718,478	3,794,907	3,826,581	3,830,193
負債合計	1,918	2,704	3,591	4,545	3,558
正味財産	3,710,907	3,715,775	3,791,316	3,822,036	3,826,635

Ⅲ 法人の留意点と課題

1 事業運営上の留意点と課題

(1) 平成24年4月1日公益財団法人に移行、平成27年度は財団設立30周年を迎え、静岡県教育委員会が平成28年度より実施の「ふじのくにグローバル人材育成事業」に、30周年記念事業として、平成28年度は4千万円、以降令和4年度まで毎年1千万円、総額1億円の拠出案を平成27年度第2回理事会(平成28年2月16日開催)にて承認を得る。

県教育委員会の要請で令和7年度まで延長。総額1億3千万円拠出予定。(令和3年度第2回理事会(令和4年2月16日開催)にて承認得る。)

- (2) 公益財団法人に移行後、支援要請による直接支援事業が多岐となったため、平成27年度より、変更認定申請の承認を受け追加事業「教育関連事業に関する支援事業」を加えた。結果として、事業の拡充が図られ、よりきめの細かい、各教育現場の支援が可能となった。

(3) 各顕彰事業

- ①「奨励賞」事業 令和3年度は158件、令和4年度は158件、令和5年度は166件と前年比微増。
- ②「助成賞」事業 平成22年度第10回より、複数年度を創設し、99件の応募があったが、令和3年度は66件、令和4年度は65件、令和5年度は77件とやや増加。
- ＜対策＞ 上記課題に対し、従来よりHPや年間の事業チラシ・告知用ポスターを作成、配布してPR活動を実施している。平成25年3月からは、毎年、各校長会及び教育センター等の教育機関へ事業チラシの直接配布を実施、また、広報「はごろもの風」の平成27年4月号からは、事業チラシ3,000部を折込み、学校等、教育研究諸団体へ配布をしている。また、令和2年度より事業ポスターを作成し一緒に配布。令和4年度より事業ポスター及び事業チラシを静岡県立清水南高等学校美術専攻生にデザインを依頼し作成した。
- ③『『夢』講演会』事業 平成28年度には、より多くの応募を募るため、助成金額を20万円から15万円としたが、応募の増加が見こめず、学校が希望する講師を呼びやすくするために、令和3年度(第17回)より助成金額を20万円に戻した。令和3年度は応募件数69件、開催回数92件(全て採用、コロナ禍の影響で5回が中止)、令和4年度は応募件数65件、開催回数82件(全て採用、全て開催)と前年並みであったが、令和5年度は応募件数75件、開催回数101件(全て採用、全て開催)と増加した。引き続き各校長会等への広報活動を実施する。
- ④「教職員の海外交流支援派遣」事業 教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、並びに姉妹都市交流等を支援することにより、互いの言語や文化などの価値観の違いを理解し、良好な人間関係を大切にする青少年の健全育成に寄与することを目的として、平成23年より実施。平成29年3月に告示された新学習指導要領が小学校では令和2年4月より全面実施され、英語が教科化され、グローバル化の進展や、多文化共生教育の推進をすべての教職員に求めており、当事業の必要性が高まっている。派遣人数の増加も含め、事業の拡充を課題として、平成30年8月開催の平成31年度事業検討委員会で検討、派遣人数を13名から24名への増加を理事会に提案、承認を得る。
- ⑤「食育」「施設等拡充」「教育関連事業」の各支援事業は、県内各教育委員会及び私学協会等からの支援要請に基づき審査を行い、具体的に助成、教育の充実を図ることが目的であり、各団体の支援要請に対し支援をするため、公正・公平性の維持に努める。
- ＜対策＞ 要請内容が妥当かどうか検討し、事業検討委員会及び選考委員・選考準備委員合同委員会にて其々の内容を検討、審査、理事長の了解を得て予算化を計り、理事会の承認を得る。

2 事業運営財源の留意点と課題

事業運営財源の大半をはごろもフーズ(株)株式の配当金に依存しており、現状は安定している。しかしながら、不安定な経済状況の中では、これまで以上に基本財産の維持に努め、安全で効率的な運用を図る。

IV 株式の20%以上を保有している営利企業の概要

- 1 名称
はごろもフーズ株式会社
- 2 事務所の所在地(本店所在地)
静岡市清水区島崎町151番地
- 3 資本金
144,166万円

4 主な事業内容

缶詰・レトルト食品・パスタ・パスタソース・花かつお・海苔・ふりかけ・ギフトなどの各種食品の製造販売

5 役員の数及び代表者の氏名（令和5年6月29日現在）

（1）役員の数 取締役 16名 監査役 5名

（2）代表者の氏名 後藤 康雄（代表取締役会長）後藤 佐恵子（代表取締役社長）

6 従業員の数（令和5年3月31日現在）

692名

7 当財団法人が保有する株式数及び当該営利企業の総株式数に占める割合（令和5年3月31日現在）

（1）当財団法人の保有株式数 4,391,715株

（2）当財団法人の持株比率 46.67%

8 保有する理由

当財団法人が設立された際、はごろもフーズ株式会社の役員から財団事業の運営資金に資するために寄附されたものであり、その後も役員からの寄附や株主割当増資等により持株数も増加した。この配当金収入を教育研究奨励事業等の資金として活用するためである。

9 当該株式の入手日

昭和61年6月30日

10 当財団と当該営利企業との関係（人事、資金、取引等）

（1）当財団法人は、はごろもフーズ株式会社が創業55周年を迎えた際、顧客をはじめ関係各位のご恩顧に報いるために、利益の一部を社会に還元しようと基金を拠出して、県内の教育研究を奨励し教育研究の一層の高揚と充実を目的として設立されたものである。

（2）当財団の役員として、同社の代表取締役会長、代表取締役社長が理事として就任している。

（3）資金、取引等についての関係はない。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

決算期後に当財団法人の収支や正味財産の状態に重要な影響を及ぼす事実はなし。

事業報告の附属明細書

1 役員等の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

令和6年3月31日現在

区 分	氏 名	兼 職 先 法 人 等	兼職の内容	備 考
理 事 長	後藤 康雄	はごろもフーズ(株)	代表取締役会長	
副理事長	宮崎 総一郎	清和海運(株)	代表取締役会長	
常務理事	木内 藤男	木内建設(株)	代表取締役会長	
理 事	池上 重弘	静岡県教育委員会	教育長	
理 事	赤堀 文宣	静岡市教育委員会	教育長	
理 事	宮崎 正	浜松市教育委員会	教育長	
理 事	仲田 晃弘	(公社)静岡県私学協会	理事長	
理 事	木苗 直秀	静岡県文化協会	会長	前静岡県教育長
理 事	池谷 眞樹	学校法人常葉学園	理事	前静岡市教育長
理 事	花井 和徳	(公財)浜松市文化振興財団	理事長	前浜松市教育長
理 事	長谷川 了	学校法人聖隷学園	理事長	前静岡県私学協会理事長
理 事	中西 勝則	(株)しずおかフィナンシャルグループ	代表取締役会長	
理 事	酒井 公夫	静岡鉄道(株)	代表取締役会長	
理 事	後藤 加壽子	料理研究家		
理 事	後藤 佐恵子	はごろもフーズ(株)	代表取締役社長	
監 事	高木 雅宏	(公財)静岡市文化振興財団	理事長	元静岡市教育長
監 事	大須賀 紳晃	(株)静岡新聞社	代表取締役社長	
評議員	戸塚 康史	静岡県教育委員会事務局	義務教育課長	
評議員	中山 雄二	静岡県教育委員会事務局	高校教育課長	
評議員	渡邊 宏	静岡県スポーツ・文化観光部 総合教育局	私学振興課長	
評議員	奥村 篤	沼津市教育委員会	教育長	
評議員	千葉 一道	(一社)静岡県私立幼稚園振興協会	理事長	
評議員	榎本 義男	静岡市教育委員会 静岡市教育センター	センター所長	
評議員	内山 圭子	浜松市教育委員会学校教育部	指導課長	
評議員	曾根 明美	(公社)静岡県私学協会	事務局長	
評議員	香田 賢治	はごろもフーズ(株)	上席理事サービス本部長補佐兼 総務部長	

2 その他の記載事項

他、事業報告の内容を補足する重要な該当する記載事項はなし。